

2017年度AED訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2019年度分)

<p>団体名</p>	<p>中仁野自治会 自主防災会</p>	
<p>2019年7月に、中仁野自治会 自主防災会の「新防災委員(新隣保長)」「物資調達班」「営繕班」の希望者を対象に講習を2回実施(参加者数:計52名)</p>		<p>AED講習会の冒頭で、自治会内を流れる2級河川の豪雨時の河川水位の確認方法を教えている (NHK デジタル放送の防災情報画面・河川水位)</p> 
<p>2019年10月27日にJR大阪駅で実施された「第7回いのちのリレー大会」に参加し、敢闘賞を受賞</p>		<p>自主防災会独自制作の「救急講習受講証」</p>  <p>裏面には、緊急時の手順、および自治会近隣のAED器を設置されている場所・TELを記載</p>

【背景】

・中仁野自治会では毎年12月に避難・防災訓練を実施しており、時として心肺蘇生やAED操作のデモを、姫路市消防局に依頼していましたが、自治会内に応急手当指導員と応急手当普及員がおられ、AED訓練器があれば救命講習が自ら実施できることから、平成29年度(2017年度)のJR西日本あんしん財団様の助成事業を知り、応募させていただきました。結果、AED訓練器1セットの助成をいただき、2019年度は3年目の活動となります。2017~2019年度の受講者数はのべ240名となり、当自治会員数の24%になります。参加者の半数以上はAED講習が初めての方で、いい体験をしたとのお声を多数いただいています。

【活動内容】

- ・当自主防災会では、自主防災会組織のメンバーを対象に、2つの講習コースを設けて継続実施中です。また、AED講習会の冒頭で自治会内を流れる2級河川(市川)の、豪雨時の河川水位の見方を教えています。
  - ・100分コース：AEDの操作体験を中心にした心肺蘇生・救急処置の基本を学ぶコース。  
今年度は2回のコースに38名参加(2017~2019年で計180名)  
参加者には、自主防災会で自作の「救急講習受講証」を発行しました。
  - ・3時間コース：100分コース内容 + より実践的な訓練を実施、  
2回のコースに14名参加(2017~2019年で計60名) 姫路市消防局に「普通救命講習修了証」を発行していただきました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年3月に予定していました100分と3時間コース各1回が中止に。
- ・「第7回 いのちのリレー大会」(JR大阪駅)に中仁野自主防災会チームが参加し、「敢闘賞」を受賞しました。
- ・当自主防災会メンバーは一巡したため、小学6年生や中学生や未受講の一般自治会員を対象に随時実施予定。機会があれば、自治会内外での催し物や集まり時にデモなどを実施できればと考えています。